

3期生☆あおぞら防災ママ認定講座～前半を終えて～

2018年10月3日

あおぞら湯ーママの学びの子育て支援 「防災」を学ぶ！

平成30年度 あおぞら防災ママ認定講座は、1期生、2期生に続いて3期生の学びも前半の学びを終えました。

2018年8月20日（月）

① こどもと一緒に防災を考えよう！

こども防災士・しまさコンビによる学びの会でした。

防災グッズ紹介では、意外とハードルの低いグッズに「これならできる！」とスイッチが入るママたちの姿も。

応急手当を短縮版で学ぶ時間には、知らない怖さより知って冷静に対応できる自信を得たような時間でした。→赤十字、消防局の学びにぜひ参加してみてくださいね！



そして、後半はお子さんと合流して♪

坂本真理先生の出された絵本

「こんなときどうする？」のパネルシアターをボランティアのちゃんにお願いして学びました。

一緒に体を動かしながら、体験しながら考えながらの学びタイムでした。

2018年9月15日&22日（土）

② 防災の備え、何から始めよう。

災害について知り、火災、地震、どう違う？わかっているようで、曖昧な概念について考え直しました。

そんないざという時の「備え」について 無理なく、でも必要なものを考えてみました。

アンケートにも早速色々備えた事例を紹介してくれていました。

学ぶ→実行する を引き出してくれる場です。



では、いよいよ **認定試験!**

みなさんドキドキな表情で「おはようございます〜」

復習を終えて、試験。「お疲れ様でした〜」

終了後は、北区役所 地域課 七尾さん、谷山係長から炊き出しのご紹介。

そして、行政サイドからの防災のお話。大阪市北区の新たな取り組み「大阪北区ジシン本」にも皆さん興味津々。

各家庭ごとに違う災害の備え、共有するための最後の交流タイムでは、質問が飛び交います。

みなさん、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月4日の台風21号…

とにかく、乳児を連れて避難所へ？在宅避難？地区外避難？

いざという時動けるのか？答えのない災害に たくさんの不安があるのです。

次回はいよいよ最終回となります。

～災害が起こった時にどう動くか実際に考える～をグループワークにより進めていきたいと思います！

最終回のみ単発受講も可能です。

託児は満席となりますが、パパに預けて行ってみたいなど下記 Google フォームよりお申し込みくださいませ。

2018年あおぞら防災ママ認定講座 3期生卒業

2018年10月16日

あおぞら湯では「防災」への取り組みを行っています。

～あおぞら防災ママ認定講座～今年度で、3年目となる学びですが、
最終回の時間は、新しいテーマの「要援護者のための防災」について学びました。
実際に被災地で起こっていることとして、西日本豪雨の避難所の現状と課題など
想像できていない被災地の状況について、知る機会を得ました。



後半は、

もしも、震度6強の地震が発生したら？ ～その時、自分はどう行動するか？～
揺れのあとの「行動」を書き出す「グループワーク」を行いました。
その書き出す作業の中から

具体的な過ごし方や備えについて、考える機会となりました。

なんで？ママは～要援護者～なの??

妊産婦、乳幼児を持つ保護者は、避難所で非常に肩身の狭い思いをします。

避難時に、荷物も子どももという状況や子ども達を精神的な苦痛から守るには劣悪すぎる
環境に身を置くなど 想定されます。

そんな時、ベターな状況を選択できるように、自助のもう一歩先、共助を築きたいですね！

質疑応答で

「希薄なママ友関係」についてあがりました。

八幡先生からは、「この講座で出会った仲間は助けてと頼られたら助け合ってよ～泊めてあげるんだよ」と
お声かけが(๑>_<_)

本当に「小さな命」を守る同志として、助け合う関係ができればいいなあ。

子育て世代の居場所作り事業をする「ぐぐう」スタッフとして、そんな緩やかなつながりが生まれるお手伝いを
しようという思いです。



みなさん、受講お疲れ様でした！無事、修了証をゲットです！
お迎えに行くと、ママにプレゼントのメダルを
首にかけてくれました～

ママたちの深い学びのために、
「ぐうぐう」にて託児を実施してくれた
For Mom スタッフの皆様ありがとうございます😊

主催： 一般社団法人あおぞら湯
共催： 中津つどいの広場ぐうぐう
協力：一般社団法人プラスワン防災
For Mom
大阪市北区役所 地域課
認定 NPO 法人 ゆめ風基金